

組み立てを考えて物語を書こう。

めあて

場面のつながりを考えて、○○○○の部分の文章を書こう。

気を付けたいこと

書く内容と表現の工夫のポイント

例【 時目】

- ・ 新たな登場人物
- ・ かい決に向かう言葉
- ・ 会話文

組み立てメモの例

前時に書いた組み立てメモで必要な場面だけを提示。

文章の例

ここは、学級の実態に合わせて書きましょう。

見直しのポイント

- 漢字や言葉のまちがいはないか。
- 句読点や「」などのつかい方。
- 場面のつながりはよいか。

【9～11時間目 指導略案】

原稿

※原稿は、下書きと清書兼用です。

場面の移り変わりをとらえて物語の組み立てを考え、文章に書くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。

○ 物語を書く手順として、「はじまり」と「出来事が起こる」部分で一時間、「出来事が変化する」部分で一時間、「むすび」の部分と推敲で一時間という時間の見通しをもたせる。

2 組み立てメモを基に、原稿に文章を書く。

【9時目】

① 組み立てメモの「はじまり」と「出来事が起こる」部分の内容と「三年とうげ」で学んだ表現の工夫を確認する。

【10時目】

② 組み立てメモの「出来事が変化する」部分の内容と「三年とうげ」で学んだ表現の工夫を確認する。

【11時目】

③ 組み立てメモの「むすび」部分の内容と「三年とうげ」で学んだ表現の工夫を確認する。

○ 場面ごとに気を付けたいこと、組み立てメモ、文章の例を黒板に提示して原稿に文章を書くときの参考にさせる。

3 推敲をする。

① 下書きを読み直し、推敲する。

○ 全体を読み返し、漢字や句読点、符号、場面のつながりなどを見直させる。

4 清書をする。

評価 場面の移り変わりをとらえて物語の組み立てを考え、文章に書いている。

5 本時を振り返り、次時の学習を知る。